

事例 1-0

先進的な取組を行っている団地の視察

安芸区・寺屋敷団地

【取組主体：寺屋敷団地自治会】

概要

平成 27 年 11 月の土曜日に、自治会の役員を中心とした視察団が、マイクロバスを借り上げて、先進的な取組を行っている団地を視察しました。

取組内容

- 視察に先立ち、市の出前講座を利用し、地元の集会所において、市職員から広島市内の団地の様々な取組事例について、パワーポイントを使って紹介してもらいました。
- その中から視察してみたいとの声があった、佐伯区美鈴が丘団地の土曜朝市「美鈴楽市」（事例 4-2）と、東区ひばりヶ丘団地の空き家サロン「ひばりのとり木」（事例 3-2）を視察しました。
- 美鈴が丘団地では、朝市で自由行動により買い物をした後、美鈴モール商店会の代表の方から、朝市の始まりから現在に至るまでの経緯や苦労話についてのお話を聞きました。
- ひばりヶ丘団地では、空き家サロン「ひばりのとり木」を見学した後、温品福祉センターにおいて、自治会長等からパワーポイントを使った取組内容の説明を受けました。



美鈴楽市の代表の方による説明



ひばりのとり木の代表の方による説明

＜視察の概要＞

視察団メンバー	自治会役員を中心とした 23 人（市職員 2 名を含む。）
視察先	・佐伯区美鈴が丘団地（土曜朝市「美鈴楽市」を視察） ・東区ひばりヶ丘団地（空き家サロン「ひばりのとり木」を視察） ※朝 7 時 30 分に地元の集会所に集合し、8 時 50 分～10 時に美鈴が丘団地を、11 時 15 分～12 時 30 分にひばりヶ丘団地を視察
費用	約 8 万 2 千円（マイクロバス借上料約 8 万円、講師謝礼金約 1 万 2 千円） ※全額市の補助金「まるごと元気」住宅団地活性化補助金により対応

ポイント

- ★ 視察先の団地との日程調整や視察受入依頼は、市に仲介してもらいました。
- ★ 寺屋敷団地自治会では、今後、今回の視察で聞いたことなどを参考にしながら、独自の取組について検討することとしています。